

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

成果指標の令和4年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成度 (R4年度)
第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合(※1)	—	90.0%	90.9%	101.0%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	46.2%	92.4%
同第5章 スポーツを通して生きがいになり、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	50.0%	39.6%	79.2%
同第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	47.3%	59.1%

※1:実績値(R4年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2～4:実績値(R4年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、467人が回答)。

令和4年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業	67
4	2	学校E S D支援事業	68

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ 高校生まちづくり体験事業（72・73ページを参照）
-----	---

目的						
高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。						
事業内容						
高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生等が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。						
具体的な事業として、次の2事業を実施します。						
○ふるさと魅力発見ウォーク						
小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。						
○総合発表会						
高校生等が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校等への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値(校)	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値(校)	6	4	8		
	達成度(%)	120	66.7	114.3		

取組実績						
○高校生まちづくり体験事業推進協議会						
本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。						
○高校生まちづくり体験事業						
市内の全ての高校等に事業の周知を行い、事業を企画・運営する高校生をポスターやチラシ、HP等を活用して募集し、11人の参加がありました。						
①ふるさと魅力発見ウォーク						
6月から企画会議を実施し、参加した高校生等は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでいました。「青春(アオハル)Walk」と称して、11月6日(日)に高校生等11人と、小学生の参加者20人(27人の申込みがあり、抽選で20人に決定)で実施することができました。						
②総合発表会						
大牟田市内の高等学校、高等専門学校に協力を呼びかけ、大牟田文化会館を会場に、「夢の花咲く青春祭」と称して、R5年2月23日(木・祝)に開催しました。会場では、学校紹介(市内の全ての高校)、部活動発表、体験・展示・試食コーナー等に約1,000人の方(参加していた高校生も含む)が来場されました。						
		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	1,000 千円 千円)				500	500
問題点及び課題						
高校生まちづくり体験事業を実施するためには、まずは事業を企画・運営する高校生等の参画が必要です。このためには、高校生等が参画しやすい時期等に事業を実施することが重要です。						
また、企画・運営を行う高校生等の意見を活かしつつ、地域の方々や小・中学生等との交流の機会となるよう事業を展開する必要があります。						
今後の方向性(具体策)						
高校等の参画を募るために、各高校等へ本事業の実施により高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高め、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目指していることの重要性について説明の強化を図ります。						
企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。						
高校生等が参加意義を見つけることができるよう事業の組み立てを支援します。						
評価						
事業に参加した高校生等11人全員から「参加してよかった」とのアンケート回答がっており、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。						

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり 学校ESD支援事業(80ページを参照)
-----	--

目的						
地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。						
事業内容						
学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7	7	9		
	達成度(%)	175.0	116.7	112.5		

取組実績						
○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届けました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】						
○地域、学校が連携し、種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】						
○地域の史跡や文化財等を知ったり、発表したりすることにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校ESD支援モデル校区)、駿馬小学校】						
○小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駿馬小学校、天領小学校】						
○勝立地区の人が地域の歴史と自然を学び作成した動画のDVDを学校に届け、地域への愛着を深めました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】						
○三池の歴史学習資料をゲストティーチャーが学校と連携して作成する支援を行いました。【三池小学校】						
○このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表、文化祭での展示発表などを実施しました。						
決 算	国	県	起債	その他	一般財源	
決算額 (次年度への繰越)	23 千円 千円)					23

問題点及び課題						
地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。						
小学校での実施が中心となっており、中学校への取組が必要です。						
学校のニーズを把握するため、学校が取り組むESDについて理解を深めることが必要です。						
今後の方向性(具体策)						
学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校ESDの支援に取り組みます。						
学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。						
評 価						
目標を上回る9校(小学校7校、中学校1校、特別支援学校1校)で事業に取り組むことができ、学校と地域をつなぐ役割ができました。今後も学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。						

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
	次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切に人をはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。

（視点1）次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を73講座開催しました（11講座は大雨による避難所開設のため及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 2回
- ・活動 8回

②延べ参加者（人）

- ・子ども 220人
- ・ボランティア 174人
- ・保護者（懇談会） 13人

（3）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。

職 業	講 師	と き	と ころ	受講者数
消防士	和泉 伶奈 山下 颯太	7 月 27 日（水）	大牟田市消防本部	9 人
ウェディングプランナー	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
ショッピングモールで働く人	植田 侃汰 新井 万由奈	10 月 8 日（土）	イオンモール大牟田	5 人
海上保安官	観山 寛之 水村 美優	10 月 29 日（土）	三池海上保安部	18 人
信号機をつくる人	山下 亜裕美	12 月 26 日（月）	信号電材株式会社	15 人
JAXA で働く人	山口 敬之	R5 年 1 月 28 日（土）	えるる	10 人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

イ 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行うものです。R 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

ウ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

エ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（R 4 年度は実績なし）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等 16 団体（定期開設 16 団体、長期休業期間中開設 0 団体）に対して運営費の一部を補助しました。

※定期開設のうち 1 団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業未実施となったことから、補助金は全額返還。

・市補助金交付団体【定期開設】 16団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月1回	18年目
2	友・遊広場見守り隊	月2回	18年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月1回	18年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月1回	18年目
5	平原小学校父母教師会	未実施	15年目
6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月1回	16年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月1回	16年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月1回	13年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月1回	12年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月1回	12年目
11	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月4回	11年目
12	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月1回	10年目
13	ひまわり広場実行委員会	月4回	8年目
14	大正こどもの居場所実行委員会	月1回	5年目
15	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月1回	3年目
16	みなと子どもの広場実行委員会	月12回	2年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 ※R4年度なし

・自主運営等の団体数 5団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場	週1回
2	勝立地区アンビシャス広場	月1回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぼけっと	月4回
5	上官げんきもりもりハウス	月8回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 2団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年1回
2	上内なかよし広場	年1回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第1～3号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（4月9日（土））

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（5月、12月、3月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年3回開催し、延べ70人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と き 12月17日（土）

ところ 駛馬地区公民館 プレイルーム 参加者 20人

テーマ 「手軽になかよくレクリエーション」

講 師	南筑後青年リーダー 副会長 中尾 圭詞氏
(ウ) 体験活動 (「わくわく子どもまつり」) の実施	
と き	R 5 年 3 月 5 日 (日)
ところ	手鎌地区公民館及びサンアビリティーズおおむた
参加者	子ども 3 0 7 人・保護者 1 9 0 人 ボランティアスタッフ 1 3 0 人 高校生ボランティア 4 5 人
内 容	紙ヒコーキ遊び、わなげ・ダーツ・フリスビー、プラ板ストラップ作り、サッカー P K 戦、毛糸のかみかざり作り、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、紙皿フリスビー、お手玉づくり、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子のつり、折り紙でコマを作ろう、竹ぼっくりで遊ぼう、お手玉を作ろう、バンブーダンス、松ぼっくりミニツリー作りほか

●高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)[生涯学習課](67ページを参照)

(1) ふるさと魅力発見ウォーク・総合発表会

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法	ポスター、チラシ、市公式 L I N E 等
募集期間	5 月 1 日～5 月 2 7 日
応募者数	1 3 人 (大牟田北高等学校 8 人、明光学園高等学校 2 人、おおぞら高等学院 1 人、大牟田高等学校 1 人、大牟田特別支援学校高等部 1 人)

②企画会議・振り返り等開催

第 1 回	6 月 1 1 日 (土)
第 2 回	7 月 9 日 (土)
第 3 回	8 月 6 日 (土)
第 4 回	9 月 3 日 (土)
第 5 回	1 0 月 1 5 日 (土)
第 6 回	1 1 月 1 2 日 (土)
第 7 回	1 2 月 1 0 日 (土)
第 8 回	R 5 年 1 月 1 0 日 (火) ※ F M たんと事前収録
第 9 回	R 5 年 2 月 4 日 (土)
第 1 0 回	R 5 年 2 月 2 2 日 (水) ※夢の花咲く青春祭りハーサル
第 1 1 回	R 5 年 3 月 1 1 日 (土)

③事業実施

(ア) 青春 (アオハル) W a l k

実施日	1 1 月 6 日 (日)
参加者	高校生 1 1 人、小学生 2 0 人、推進協議会会員 1 人
コース	三川坑跡～三池港展望所～旧長崎税関三池税関支署～旧三川電鉄変電所～三井港倶楽部～駛馬地区公民館～宮原坑跡

○小学生参加者募集

募集方法	ポスター、チラシ、市公式 L I N E 等
募集期間	1 0 月 1 日から 1 0 月 2 4 日まで
応募者数	2 7 人 (天領小 4 人、駛馬小 3 人、天の原小 2 人、大牟田中央小 3 人、大正小 2 人、明治小 1 人、銀水小 3 人、上内小 1 人、吉野小 3 人、倉永小 4 人、手鎌小 1 人) ※応募者多数のため抽選の結果 2 0 人に決定 ※当日 2 0 人参加

(イ) 夢の花咲く青春祭

実施日 2月23日(木・祝)
参加者 約1,000人(高校生スタッフ等含む)
会場 大牟田文化会館(大ホール、小ホール、憩いの森)
内容 大牟田市内の高等学校、高等専門学校の学校紹介、部活動発表、
工作・体験コーナー、展示コーナー、試食コーナー等

④ 高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催 第1回 R5年3月29日(水)

○ 子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R4年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取り組みを行いました。

(1) ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット(ブックスタートパック)を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、R4年度は582人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃん和絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況(会場は市立図書館)

と き	参 加 者
6月10日(金)	6組(13人)
6月11日(土)	6組(13人)
7月29日(金)	3組(6人)
7月30日(土)	1組(2人)
9月9日(金)	9組(19人)
9月10日(土)	7組(16人)
10月28日(金)	2組(5人)
11月2日(水)	5組(11人)
R5年3月7日(火)	7組(15人)
3月11日(土)	8組(20人)

(2) 子ども読書推進啓発事業

① 啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

② 子ども読書の日記念イベント2022(指定管理者)

4月23日の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

(内容等の詳細は、176ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事业」の表を参照)

③ ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。(携帯電話用のページも毎月更新)。

④うちどくノートの作成・配布

家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、ホームページからもダウンロードし印刷ができるようにしました。

R 4 年度から配布を開始し、学校等での活用の提案を含め、広く周知しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
9 月 18 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	台風のため中止
10 月 2 日(日)	保護者セミナー、親子で運動遊び	明治小学校	84 人 (36 組)
10 月 23 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	63 人 (26 組)
11 月 27 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	66 人 (28 組)
12 月 18 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	34 人 (15 組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12 月 10 日(土)	体力テスト	市民体育館	19	220
R5 年 2 月 12 日(日)	交流ドッジボール大会	市民体育館	12	198

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
スポーツ少年団数	37	35	33
加入者数	543	499	455

○おおむたっ子ががんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18 歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子ががんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R2 年度	R3 年度	R4 年度
スポーツ	全国大会等出場者数	53 人	93 人	130 人
	交付額	159 千円	279 千円	390 千円
文化芸術	全国大会出場者数	3 人、1 団体	15 人、2 団体	19 人、1 団体
	交付額	159 千円	255 千円	157 千円

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生１００年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として、５７講座を開催しました（２講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、１４３～１６２ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びＰＴＡ連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
7月30日(土) ～31日(日)	受講希望者少数のため中止		
11月5日(土) ～6日(日)	受講希望者少数のため中止		
R5年 1月29日(日)	危険予知訓練・ゲーム	えるる	5人

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月19日（月・祝）
※台風接近のため中止

（イ）新年カルタ大会

と き R5年1月9日（月・祝）
ところ 手鎌地区公民館
参加者 2子ども会 5チーム 19人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月10日（日）
ところ 労働福祉会館
参加者 32団体36人
内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、33団体が加入しました。

② P T A活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）P T A広報紙コンクールの実施

第37回P T A広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会の共催により実施しました。作品は、R3年度発行の新聞を対象としました。

応募校数26校（小学校18校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：三池小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会

大牟田市教育委員会賞：白川小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会賞：

大正小学校父母教師会、宮原中学校父母教師会

優秀賞：みなと小学校父母教師会、羽山台小学校父母教師会、
天領小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

(イ) P T A 広報紙研修会の開催

内 容 5月19日(木)に馬場真帆氏を講師に招き、白川小学校にて実施。
企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

(ウ) P T A 連合会の研修会の委託

内 容 11月12日(土)に大牟田文化会館にて、吉村春生氏を講師に招き、大牟田市立小・中・特別支援学校 P T A 連合会研修会を実施しました。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を6講座開催しました(1講座は新型コロナウイルス感染症等の影響により中止。)

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

R4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら開設し、運営にあたるボランティアのスキルアップ講座も実施しました。

①三池子育てふれあい広場(じゃじゃり子み〜け)・月曜日開設

大人延べ利用者数	181人
子ども延べ利用者数	205人
延べ利用者数	386人
開設日数	29日

②手鎌子育てふれあい広場(れもんぐらす)・金曜日開設

大人延べ利用者数	264人
子ども延べ利用者数	301人
延べ利用者数	565人
開設日数	29日

③ボランティア養成講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営を目指し、三池地区公民館、手鎌地区公民館においてボランティアのスキルアップ講座を実施しました。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回(7月・11月・3月)発行し、発行数は延べ34,500部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育

のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。R 3 年度から公民館事業として実施しています。R 4 年度は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら 19 校区分 18 校区分で実施しました。1 校区分は、実施予定日前日の寒波による水道管凍結のため入学説明会は時間短縮、講座は中止することとなりました。

18 講座（18 小学校区分） 参加者数 641 人（入学予定者数の 85.7%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3 歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」を実施しました。

と き 7 月 31 日（日）

と ころ えるる

参加者数 97 人

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、中友剣道スポーツ少年団による「中友剣道スポーツ少年団創立 60 周年記念剣道大会」を下記のとおり開催しました。

と き 11 月 26 日（土）、27 日（日）

場 所 大牟田市民体育館

対 象 九州各県の小学生・中学生

概 要 ①小学生・中学生による錬成会、剣道大会を開催

②トップ選手との交流（世界剣道選手権大会強化選手候補で第 41 回全日本女子学生剣道優勝大会優勝の妹尾舞香選手、東堅嘉怜選手の直接指導）

③防具の展示や説明

④大牟田の物産ブースの開設や観光パンフレットの配布

文化芸術分野は、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」、大牟田青少年音楽育成事業実行委員会による「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」、一般社団法人 OMUTA BRIDGE による「JUNIOR CITY MAKER(ジュニアシティメーカー)」を下記のとおり開催しました。

「ダンスチャレンジおおむた」

と き R 5 年 1 月 15 日（日）

場 所 大牟田文化会館大ホール

参 加 者 約 600 人

概 要 ①日頃ダンス活動に励んでいる市内高校のダンス部やダンスグループがステージで発表

②インストラクターが振り付けしたダンスを小学生にレッスンするワークショップを 11 月から R 5 年 1 月にかけて 5 回実施し、レッスンの成果をステージで披露

③市内外の参加者を募り、小学生部門・中高生部門によるダンスコンテストを実施

④高校生ボランティアによる受付や物品販売等の接客、楽屋呼び込み・音響操作などのイベント運営

「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」

と き ワークショップ：9 月 20 日（火）、27 日（火）、10 月 6 日（木）

公演：10 月 21 日（金）

場 所	ワークショップ：高取小、吉野小、大正小、明治小、上内小、平原小 公演：大牟田文化会館
参 加 者	高取小、吉野小、大正小、明治小、上内小、平原小児童
概 要	①オペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演を上演 ②参加小学校に出向き、オペラ体験ワークショップを実施 ③ワークショップに先立ち事前にオペラの歴史や演目等についてまとめた資料を作成し、参加校に配布
「JUNIOR CITY MAKER(ジュニアシティメーカー)」	
と き	5月～R5年3月
場 所	橘中学校他
対 象	橘中学校生徒
概 要	①大牟田の農産物、特産品を通し、大牟田の食文化を学ぶ大牟田わくわく発見セミナーを実施 ②大牟田の持つ魅力を共有しながら新しい魅力ある商品計画書づくり ③②の発表会を実施 ④子どもたちがグループ毎に模擬会社を設立するスタートアップセミナーを実施 ⑤子どもたちが考えたものを実際に商品化し、販売実践 ⑥決算発表会（実践報告会）を実施

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の111～113ページを参照）

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の114ページを参照）

【視点２）ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったＥＳＤの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ４年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響の変化により派遣回数は若干増加しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
R2	個人	93	93	109	2,341	33.6
	団体	118	1,473	244	5,993	
	計	211	1,566	353	8,334	
R3	個人	91	91	125	2,640	36.2
	団体	116	1,464	191	4,370	
	計	207	1,555	316	7,010	
R4	個人	92	92	127	3,091	46.4
	団体	119	1,509	270	7,279	
	計	211	1,601	397	10,370	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・９９．６％

（Ｒ３年度９９．５％）

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）・・・１００％

（Ｒ３年度１００％）

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類送付による説明に振り替えました。

ア 依頼者（利用者）向け

送付内容 おおむた生涯学習メニューブック（利用案内含む）

イ ボランティア登録者向け

送付内容 事業概要、ボランティア活動保険について

④新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、以下の取組を行いました。

ア 地区公民館で実施するアクティブシニアデビュー塾における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけ

イ 校区まちづくり交付金における『地域人材発掘メニュー』の設定

⑤周知・P R

- ア ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,500部）の配布
- ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

○地域E S D推進事業〔生涯学習課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行い、ニーズをとらえて進める事業を19講座実施しました。

●学校E S D支援事業〔生涯学習課・公民館〕（68ページを参照）

○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、9事業を実施しました。

○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」6講座を開催し、61人が受講しました。（受講生が定員に満たなかったため1講座中止）

講座終了後、3つの新規ボランティアグループが結成され16人が入会、既存ボランティアグループへ9人が加入し活動を続けています。

（各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

- （2）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しています。この事業にボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」に支援・協力をお願いしており、「はやめカヌーサポーター会」の人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。R4年度は6人が受講し、うち1人が「はやめカヌーサポーター会」に加入しました。

- （3）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○地域のICTを支援する人づくり事業〔生涯学習課〕

(1) 地域のICT化を推進するボランティアの養成

オンラインを活用した地域学習活動・地域活動を進めていくためには、地域の支え手が必要であることから地域住民を対象とした「VRを活用した地域とつながるプロジェクト」を実施しました。今後養成したボランティアがデジタルデバイドなど地域課題解決のため、活動の場を提供していきます。

と き 12月～R5年3月

対 象 一般成人

概 要 VRゴーグルや360度カメラの使い方を学び、市内風景を撮影し、特別養護老人ホーム延寿苑の入所者等に撮影した映像を見せるボランティアの体験を行いました。

(2) 地区公民館職員のICTスキルアップ研修

R5年2月6日の地区公民館職員研修会において、地区公民館職員がオンラインを活用したハイブリッド型（対面とオンラインの併用）の事業が実施できるよう、PC等実際の機材を使って研修を実施しました。

(3) 行政課題や地域課題把握のためのヒアリング

ICTにおける行政課題や地域課題を把握するため、デジタル行政推進室、健康づくり課など庁内で5つの課・室と商工会議所やゆめタウンなど企業など5団体にヒアリングを実施しました。

【視点3】学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部／回）

掲載事案件数97件、メールマガジン登録件数162件

- (2) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子2,500部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を1冊にまとめて発行しました。

- (3) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全3回）

- (4) その他（年間随時）

①市ホームページ、SNS、「愛情ねっと」、「FMたんと」、YouTubeを活用した動画配等による情報発信

②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

- (1) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。R4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響の変化から、若干増加しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
R2	118	51回	95人	1,698人
R3	123	65回	117人	2,175人
R4	118	86回	169人	2,696人

- (2) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（79・80ページを参照）

- (3) 市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
放射能で病を治す？ ～知って得する最新の核医学のお話～	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 助教 関川 祐矢	11月11日(金)	えるる	19人
English Through Drama (演劇を通して英語を学びましょう)	有明工業高等専門学校 一般教育科 教授 リチャード・グランバイン	11月18日(金)	えるる	19人

今どきの子育て・孫育て&大切にしたい子育て・孫育て	帝京大学福岡医療技術学部 看護学科 教授 椎葉 美千代	11月22日(火)	えるる	15人
現象からみた再生可能エネルギーとその利用方法～電力品質や安定供給確保についての新たな問題～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 泉 勝弘	11月30日(水)	えるる	13人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R2	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ、⑮㈱O.A.S、 ⑯九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑰㈱にしけい有明支社、⑱大牟田柳川信用金庫、 ⑲中国茶・台湾茶専門店華貴、⑳和装処・坪井、 ㉑豊浜製麺	40	13回	306人
R3	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑯㈱にしけい有明支社、⑰大牟田柳川信用金庫、 ⑱つきあかり、⑲和装処・坪井、 ⑳㈲美川漢方堂、㉑㈲山田屋茶舗、㉒㈱大幸商事、 ㉓㈱エム・ティ・ネット、㉔磯浜葬祭 天翔苑、 ㉕アトリエ 花むすび、㉖しゅがーりいすぺーす	46	10回	313人
R4	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱ ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑯大牟田柳川信用金庫、 ⑰つきあかり、⑱㈲美川漢方堂、⑲㈲山田屋茶舗、 ⑳㈱エム・ティ・ネット、㉑磯浜葬祭 天翔苑、 ㉒アトリエ 花むすび、㉓オンライン学習会 ㉔明治安田生命保険相互会社 大牟田北営業部	52	36回	951人

○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。（大雨などのため2回中止）

(2) 社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

(3) 新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

(4) 新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(69～72ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(76ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(76・77ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(75ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいきづくり社会参加促進事業(地域デビュー編・健康実践デビュー編)

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を7講座開催し、100人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、101人が受講しました。

講座終了後、8つの新規サークルが結成され69人が入会、既存サークルへ16人が加入し活動を続けています。

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は34,514冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2)子育てふれあい広場の開設(76ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小及び1館が中止となりました。中止をした1館は、文化祭に代わる学習成果の発表を実施しました。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点４）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R2	390 回	2,030 人
R3	281 回	1,238 人
R4	394 回	1,561 人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

②青色パトカー巡回活動概況(昼間のみ) (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R2	420 回	836 人
R3	238 回	465 人
R4	235 回	446 人

※R3年度以降は、少年センター専任指導員のみの実施

③指導概況(性別、学職別) (単位：人)

年度 \ 区分	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R2	165	95	260	67	40	153	0	0	0	0	260
R3	50	30	80	0	24	50	0	0	0	6	80
R4	54	38	92	18	22	51	0	0	0	1	92

④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R2	0	93	50	8	53	0	0	0	0	56	260
	0	35.8	19.2	3.1	20.4	0	0	0	0	21.5	100
R3	8	23	37	0	10	0	0	0	0	2	80
	10	28.8	46.2	0	12.5	0	0	0	0	2.5	100
R4	0	14	44	0	17	0	0	0	0	17	92
	0	15.2	47.8	0	18.5	0	0	0	0	18.5	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		タ ー ゲ ー ム セ ン	等 カ ラ オ ケ 店	大 型 店 等	コ ン ス ト ア ニ エ	駅	路 上	自 宅 等	寺 院 ・ 神 社	公 園	海 岸 ・ 河 川	そ の 他	合 計	
R2	男子	13	1	3	0	4	72	0	1	26	17	28	165	260
	女子	5	5	35	0	0	35	0	3	2	5	5	95	
R3	男子	0	0	16	0	0	9	0	0	25	0	0	50	80
	女子	0	0	21	0	0	1	0	0	8	0	0	30	
R4	男子	3	0	21	0	0	15	0	5	6	3	1	54	92
	女子	0	0	19	0	0	13	0	2	1	0	3	38	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R4年1月から福岡県教育委員会が24時間365日実施する「子どもホットライン24」に一本化し、周知啓発を図ることとしました。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	1	0	0	1 (1)
	R4	0	0	0	0 (0)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	R2	2	4	56	62 (5)
	R3	0	4	43	47 (6)
	R4	－	－	－	－
メール相談	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	0	1	0	1 (1)
	R4	3	0	0	3 (1)

※ () 内は実際に相談された人

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R2	0	1 (1)	0	4 (2)	0	0	0	1 (1)	56 (1)	62 (5)
R3	1 (1)	0	2 (2)	0	2 (2)	0	0	0	44 (3)	49 (8)
R4	1	0	1 (1)	0	0	1	0	1	0	4 (1)

※ () 内は実際に相談された人

※ 1件に複数の相談内容を含む

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

ア 第72回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前で立ち上げ式等を行いました。

と き 7月1日(金)

ところ 市長応接室

イ 第70回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月6日(水)

ところ 文化会館 小ホール

ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月18日(金)

ところ イオンモール大牟田

参加者 大牟田警察署、大牟田市(子ども家庭課、少年センター)、
他関係団体

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語111点を展示しました。

と き 11月10日(木)～17日(木)

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

- | | | |
|-----|-------|---|
| 第1回 | と き | 7月20日(水) 15時～16時30分 |
| | ところ | 大牟田市生涯学習センター多目的室 |
| | 委員の委嘱 | |
| 議題 | 1 | 社会教育振興プラン2020～2023について |
| | 2 | 令和4年度社会教育・生涯学習機関等事業計画について |
| 報告 | 1 | 令和3年度社会教育委員の会議等実績報告及び
令和4年度事業計画(案)について |
| その他 | 1 | ありあけ圏域電子図書館について |
| | 2 | (仮称)総合体育館整備の進捗について |
| | 3 | 「成人式」に代わる名称について |
| | 4 | 施設予約システムの進捗について |
| | 5 | 令和4年度南筑後地区社会教育委員交流会の開催について |
| | 6 | 令和4年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修
受入と派遣について |
| 第2回 | と き | 11月30日(水) 15時～16時45分 |
| | ところ | 大牟田市生涯学習支援センター多目的室 |
| 議題 | 1 | 子育て情報誌「おおむたっ子」への
社会教育委員メッセージについて |
| 報告 | 1 | はたちの集い(旧成人式)について |
| | 2 | 地区公民館等の在り方についての取組みの現状 |
| | 3 | 社会教育・生涯学習基礎調査研究について |
| | 4 | 令和4年度筑後地区社会教育委員交流会について |
| | 5 | 令和4年度筑後地区社会教育委員研修会について |
| 講話 | 1 | 小中一貫教育制度の取組みについて |
| | 2 | 社会教育委員の役割と実践 |
| 第3回 | と き | R5年1月25日(水) |
| | ところ | 大牟田市生涯学習支援センター多目的室 |
| 議題 | 1 | 子育て情報誌「おおむたっ子」への
社会教育委員メッセージについて |
| 報告 | 1 | 令和4年度社会教育・生涯学習事業について |
| | 2 | 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究について |
| | 3 | 第4次おおむた男女共同参画プラン(案)について |
| | 4 | 大牟田市スポーツ推進計画(案)について |
| | 5 | 大牟田市総合体育館について |
| | 6 | 施設予約システムの進捗について |
| その他 | 1 | 社会教育委員の会議の1年を振り返って |
| | 2 | 第75回はたちの集いの実施状況について |
| | 3 | 2月23日のイベントについて |

4 「まなびのカタログ」「日本フィル九州講演」について

(2) 委員研修

① 令和4年度南筑後地区社会教育委員交流会

講 義 「社会教育委員として知っておくべき人権・同和教育推進の在り方」

講 師 南筑後教育事務所 人権・同和教育室

社会教育主事補 馬場 悠輝

講 話 「社会教育委員ができることってなに？～行動する社会教育委員とは～」

講 師 九州共立大学 教授 山田 明

ワークショップ

「社会教育委員として、積極的な活動をするためには」

助 言 九州共立大学 教授 山田 明

進 行 南筑後教育事務所 人権・同和教育室

社会教育主事補 古賀 直子

② 令和4年度筑後地区市町村社会教区委員研修会

実践発表 演 題 「子育てすんなら柳川隊～柳川市の子育て支援の歩み～」

説 明 柳川市社会教育委員 生田 裕子

基調講演 演 題 「子どもたちの明るい未来に向けて

～私たち大人の役割を考える～」

講 師 教育文化研究所 代表 長阿彌 幹生

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第75回はたちの集いの開催

※R4年度から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に20歳になった青年を対象に記念式典を開催した。このため、式典の名称を公募し、「はたちの集い」と改めた。

と き R5年1月8日（日）15時～16時

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー 上映

・シティプロモーション動画

・消防団員募集（大牟田PRIDE）

アトラクション（司会：公募による式典対象者1人）

・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏

・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者2人）

・国歌独唱（公募による式典対象者1人）

・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）

・誓いの言葉（公募による式典対象者2人）

・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
R2年度	465	488	953	553	58.0
R3年度	480	421	901	484	53.7
R4年度	438	436	874	469	53.7

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値 (%)	77.8	50.0	90.9		
	達成度 (%)	86.4	55.6	101.0		
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 [現状値:47.5%(H30 年度実績)]
	実績値 (%)	46.2	46.8	46.2		
	達成度 (%)	92.4	93.6	92.4		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本施策の成果指標である「将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合」については、前年度の50.0%から40.9ポイントアップの90.9%となり、目標達成度は、101%となりました。要因としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響がありつつも、青少年の体験活動等の各事業が計画どおりに実施できたことや、組織や団体等の活動も感染対策を行いながら取り組めたことによるものと考えられます。特に、高校生まちづくり体験事業では、事業に参加した高校生の企画・運営のもと、市内の高校等の協力を得て、「夢の花咲く青春祭」を開催することができました。この事業を通して、高校等や高校生等との繋がりが図られ、大牟田への関心を高める機会となりました。
- ・「地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、前年度の46.8%から0.6ポイントダウンの46.2%となり、目標達成度は、92.4%となりました。目標は達成できませんでしたが、市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域ESD推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成を図りました。

【今後の方向性】

- ・次世代の育成を推進するためには、これまでの地域や各団体における小学生を対象とした事業だけでは効果が限られることから、中学校や高校を巻き込んだ事業を展開していくことが必要です。そのために、小・中・高校生と地域のボランティアを担う大人が一体となった事業に取り組めます。
- ・家庭や学校、地域の理解とともに、多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民が各事業の取り組みや主旨を理解した上で協力していただけるよう、事業の必要性について引き続き周知・啓発を図ります。加えて、組織や団体が、継続して活動ができるよう組織のあり方を検討します。また、子どもたちが心身ともに健康でたくましく、思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の組立や運営を行います。また、出前講座の充実や生涯学習ボランティア派遣などを通して、市民への幅広い学習機会の提供を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	38
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	9
にこにこ体操教室	〃 〃	㈱M&M	24
卓球教室	〃 〃	卓球協会	20
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	26
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	37
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	5
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	4(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	14
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	27
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	20
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	23
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	12
にこにこ体操教室	〃 剣道室	㈱M&M	21
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	22

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	85
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	80
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	26

卓球	市民体育館アリーナ	卓球協会	42
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	15
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	48
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	41

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月17日(日)	諏訪公園イベント広場	61
市民ソフトバレーボール大会	6月12日(日)	市民体育館	119
市民女子フットベースボール大会	9月11日(日)	緑地運動公園運動広場	171
市民健康マラソン大会	R5年1月15日(日)	御大典記念グラウンド	1,108
市民観梅ハイキング	R5年2月26日(日)	観光プラザ前～紹運寺	中止

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と き 10月9日(日)・10日(月・祝)

ところ 御大典記念グラウンド、市民体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主 管 スポーツ2022市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月9日(日)	ア 開会式	約2,000
	イ むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	583
	ウ なわとび競争	453
	エ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	185
	オ バザー・イベント	多数
10月10日(月・祝)	ア ソフトバレーボール大会	135
	イ グラウンドゴルフ大会	56
	ウ ミニサッカー大会	183

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動(運動)を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に、市民団体、行政等で実行委員会を組織して実施しました。

年 度	R2年度(中止)	R3年度	R4年度
期 日	5月27日(水)	10月27日(水)	5月25日(水)
参加者数	—	76,762人	74,871人
参 加 率	—	68.6%	67.9%
対戦相手自治体	(秋田県大仙市) —	長崎県大村市 56.1%	京都府福知山市 45.8%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング教室

期日	集合場所	コース	参加者(人)
R5年2月5日(日)	玉川小学校	玉川小学校～焼石山公園～萩ノ尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校	22

②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11月5日(土)	駛馬小学校体育館及び運動場	①スロージョギングの講義及び実技	15
11月19日(土)	駛馬小学校運動場	②スロージョギングの実技	15

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R5年3月11日(土)	市民体育館	室内ペタンク	57

(2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では55人（R5年3月31日現在、R4～5年度定数：57人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期日	場所	研修内容
7月3日(日)	生涯学習支援センター研修室、第二市民体育館	講義・実技 「楽しく運動 健康増進 地域に根付いたスポーツ振興！」

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

福岡県が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期日	研修名称	開催地
6月11日(土)	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会	筑後市
6月26日(日)	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市
8月21日(日)	福岡県中堅スポーツ推進委員研修会	福岡市
12月3日(土)	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会	みやま市
12月11日(日)	福岡県スポーツ推進委員研修大会	太宰府市

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運

営)を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
70	延べ 6,987	61	43	62	3

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕(再掲)

(第1編第4章・視点1の74ページを参照)

（視点２）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくりまします。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：１団体（Ｈ１７年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	宅峰中学校、天領小学校	延べ 691
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、大牟田ＯＰＥＮテニストーナメントなど２０大会を開催しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
大牟田 OPEN テニストーナメント大会	4月10日（日）	緑地運動公園他	24
市民軟式野球大会	5月15日（日）～10月9日（日）	延命球場	350
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月5日（日）	有明カントリークラブ	105
市長杯ソフトボール大会	7月10日（日）～7月31日（日）	緑地運動公園他	200
おおむた弓道選手権大会	7月17日（日）	宅峰中弓道場	71
大牟田市民バドミントン大会	8月21日（日）	市民体育館	136
大牟田市サッカー選手権大会	9月4日（日）	宮原中学校	96
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月4日（日）	緑地運動公園他	208
大牟田市9人制バレーボール選手権大会	10月9日（日）	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月11日（火）	緑地運動公園	49
おおむたクレイ射撃大会	10月16日（日）	玉名クレイ射撃場	15
大牟田市剣道選手権大会	10月18日（火）	市民体育館	119

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月20日(日)	大牟田Jボウル	41
大牟田駅伝競走大会	R5年1月8日(日)	諏訪公園	515
大牟田市民卓球大会	R5年2月5日(日)	市民体育館	120
大牟田地区柔道大会	R5年3月5日(日)	大牟田高等学校	110
大牟田市民体育大会バスケットボール総合選手権大会	R5年3月5日(日)、21日(火・祝)	市民体育館	300
太極拳合同発表会	R5年3月22日(水)	まいピア高田	105
大牟田市ゲートボール選手権大会	R5年3月23日(木)	緑地運動公園	40
おおむた市長杯アーチェリー大会	R5年3月26日(日)	サンアビリティーズ おおむた	7

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	8	194,605
地区・県大会出場負担金	652	634,143
地区・県新人大会出場負担金	255	279,590

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第75回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月10日(日)

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加 48郡市 参加者933人

種 目 [男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、
三段跳、棒高跳

[女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投

[男女混合の部] 4×400mリレー

[オープン] [中学生男子] 100m [中学生女子] 100m

[中学生男女混合] 4×100mリレー

[男子] 400mH(高校生以上)、3,000m(高校生以上)、
3,000m障害(高校生以上)

[女子] 400mH(高校生以上)、1,500m(中学生以上)、
3,000m障害(高校生以上)

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	大分市	福岡市	久留米市	佐賀市	小郡市
男 子	大分市	福岡市	佐賀市	小郡市	久留米市
女 子	大分市	福岡市	久留米市	佐賀市	合志市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5 月 3 日 (火・祝)	市民体育館他	400
有明杯アーチェリー大会	5 月 22 日 (日)	第二グラウンド	23
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8 月 6 日 (土)、7 日 (日)	諏訪公園他	576
大蛇山卓球大会	8 月 28 日 (日)	市民体育館	400
全九州壮年ソフトボール大会福岡県大会	8 月 28 日 (日)、9 月 4 日 (日)	緑地運動公園他	400
有明少年野球大会	10 月 10 日 (月・祝)、15 日 (土)、16 日 (日)、22 日 (土)、23 日 (日)	延命球場他	1,000
大牟田秋季記録会 (陸上)	11 月 3 日 (木・祝)	御大典記念グラウンド	1,803
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11 月 20 日 (日)	緑地運動公園他	90
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12 月 17 日 (土)	市民体育館	202
優勝弓争奪近県弓道記念大会	R5 年 3 月 19 日 (日)	市民体育館	501

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 3 件 後援 29 件

(2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、例年、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R4年度の夏季大会(水泳)及び秋季大会は、筑後地区で開催され、総合順位は6位でした。

①夏季大会(水泳) 開催日 8月21日(日)

競 技 名	開 催 地	派遣人数 (選手)	主 な 結 果 (入 賞)
水泳	県営筑後広域公園プール	37	1 位 (高校生男子 50m 平 泳 ぎ) 1 位 (高校生男子 50m バタフライ) 1 位 (18～29 歳男子 50m 自 由 形) 1 位 (高校生女子 50m バタフライ) 2 位 (30～34 歳男子 50m 自 由 形) 2 位 (少年の部男子 200m フリーリレー) 3 位 (中学生女子 50m 自 由 形) 4 位 (小4以下女子 50m 自 由 形) 4 位 (中学生女子 50m 背 泳 ぎ) 4 位 (少年の部女子 200m フリーリレー) 6 位 (小4以下男子 50m 自 由 形) 6 位 (小5・6 男子 50m 自 由 形) 6 位 (中学生男子 50m 自 由 形) 7 位 (高校生男子 50m バタフライ)

②秋季大会 開催日 9月24日(土)、25日(日)

競技名	開催地	派遣人数 (選手)	主な結果(1位～3位)
陸上競技	小郡市	16	
バスケットボール	大牟田市	48	1位 青年女子(公開) 2位 青年男子 3位 一般男子
バレーボール	久留米市、大木町	72	3位 青年男子
ソフトテニス	久留米市	16	
卓球	久留米市	19	
バドミントン	大刀洗町、筑前町、久留米市	27	3位 一般女子A(公開)
柔道	久留米市	10	3位 一般男子
剣道	柳川市	10	3位 青年男子
弓道	八女市	4	
ソフトボール	大川市	17	2位 一般男子Ⅲ
テニス	久留米市	7	

③ 冬季大会 開催日 11月20日(日)

競技名	会場	成績
第9回市町村対抗「福岡駅伝」	県営筑後広域公園周回コース(9区間 28.9km)	第3位(60市町村中) タイム:1時間33分52秒

○東京2020オリンピック・パラリンピック継承事業〔スポーツ推進室〕

①ジョージア

東京都(東京体育館)にて開催された「柔道グランドスラム東京2022」のラシャ・ベカウリ選手(大会結果:男子90kg級3位)の試合を、大牟田高等学校にて応援しました。同大会におけるジョージア柔道選手団とのスケジュールが合わず、合宿の受入れや交流事業の実施はできませんでした。

期 日	場 所	内 容	備 考
9月以降	市内学校等	在日大使等との交流事業	中止
11月～12月	大牟田市内	合宿受入れ(柔道グランドスラム東京2022)	中止
		合宿期間中の交流事業(歓迎レセプションほか)	中止
12月3日(土)	大牟田高等学校	柔道グランドスラム東京2022大会応援	柔道部50人

②アフガニスタン

医療NGOペシャワール会 PMS支援室長 藤田千代子氏を銀水小学校に招き、故中村哲医師の活動や思い、アフガニスタンの現状などについての授業を実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
9月以降	オンライン等	在日大使等との交流事業	中止
3月9日(木)	銀水小学校	故中村哲医師の功績に関する授業(講師 藤田千代子氏)	6年生76人

③共通・その他

オリンピック出場経験者の石野枝里子氏（スケート／スピードスケート）と坪井保菜美氏（体操／新体操）を歴木中学校に招き、日本オリンピック委員会主催によるオリンピック教室を実施しました。生徒達は、オリンピズム（人生哲学）やオリンピックの価値などについて学習しました。

また、12月3日には諏訪公園で、本市や日本オリンピック委員会、福岡県などが主催し、オリンピックデーランを実施しました。オリンピック出場経験者であるオリンピック10名を招き、オリンピック実施競技の体験会や、オリンピックと一緒に約2kmを走るジョギング、トークショーやサイン会など、様々なプログラムを実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
12月2日（金）	歴木中学校	オリンピック教室	2年生 86人
12月3日（土）	諏訪公園	オリンピックデーラン	延べ 1,221人

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

小宮 孝吉	バドミントンの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
荒木 晃久	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
池田 康則	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
田崎 靖雄	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
島野 知洋	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
堺 美穂	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
久富 優生	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
彌永 友民	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
田中 幸浩	スポーツ少年団の普及、発展並びに青少年健全育成に貢献

②記録賞

ア 優秀賞

大牟田高等学校 柔道部	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	男子団体 優勝
	令和4年度金鷲旗高校柔道大会	男子団体 3位
	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	男子団体 3位

竹市 裕亮	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	男子個人 73 kg級 準優勝
	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 73 kg級 3位
矢野 真鈴	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人無差別級 準優勝
城戸 珊瑚	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	女子個人 48 kg級 準優勝
青木 龍翔	令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	男子 800m 2位 男子 1500m 3位

イ 奨励賞

浦崎 華瑠	第57回全国高等専門学校体育大会陸上競技	男子 3000m S C 1位
壹岐 ひなた	令和4年度九州中学校体育大会 第50回九州中学校水泳競技大会	100m自由形 優勝 200m自由形 優勝
金納 理輝	令和4年度九州中学校体育大会 第52回男子九州中学校柔道競技大会	95 kg超級 優勝
松尾 真昊	令和4年度九州中学校体育大会 第44回九州中学校陸上競技大会	女子 800m 優勝

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、市民体育館など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

（１）各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
利用団体	198	196	198
利用件数	9,421	7,269	10,899
利用人数(人)	135,955	101,741	158,342

○総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

現在の市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を、Ｒ３年度は実施設計・施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき着工し、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ５年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R5年3月10日(金)	市民体育館研修室A、アリーナ	スポーツ障害とメディカルチェック	22

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポ

ーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R5 年 2 月 22 日(水)	市民体育館研修室 A	コロナと運動効果 動脈硬化とは	48

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【主な事業】

○大牟田市スポーツ推進計画の策定〔スポーツ推進室〕

スポーツ都市宣言に掲げる目標の達成に向けた具体的な方策として、H23年3月に「大牟田市スポーツ振興計画」を策定し、様々な施策を推進してきましたが、R5年3月、スポーツ振興計画を引き継ぐ新たな10年計画である「大牟田市スポーツ推進計画」を策定しました。

新しい計画では、前計画の基本理念である「スポーツで人と人との絆をつくり、健康で活気あふれる都市(まち)づくり おおむた」を継承しつつ、今後の拡充が見込まれる分野については、新規事業としての観点も盛り込んでいます。

スポーツ推進計画は、本市のスポーツ行政の推進に当たっての指針と位置付けており、今後、この計画のもとで諸施策の推進を図っていきます。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値(%)	50.0	50.0	50.0	52.0	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定(R5年度からは市スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に設定)。 [現状値:46.3%(R元年度実績)]
	実績値(%)	38.5	40.2	39.6		
	達成度(%)	77.0	80.4	79.2		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナ禍でも、感染防止策を十分に講じた上で各種スポーツ行事を開催するなど、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、39.6%と、前年度と比較して0.6ポイント減となり、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することはできませんでした。
- ・目標値の達成に向けて、引き続き、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

- ・スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、今後もジョージアとアフガニスタンとの交流事業等を継続することで、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化を図ります。
- ・R6年4月オープン予定の総合体育館については、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えます。また、健康づくり、体力づくりの拠点、さらには災害時の防災拠点としての機能を充実することによって、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする緑に囲まれた施設を目指します。
- ・R5年度から14年度までを計画期間とする、新たな「大牟田市スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を展開していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

イ 専用鉄道敷跡の防災対策工事を行いました（文化庁補助事業）。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～5年度）に着手し、R4年度は修理・耐震補強工事を行いました（文化庁補助事業）。台風対策のため覆屋設置が遅れたこと等により、工期をR5年度まで延長しました。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R4年度は個人10人から計51万5千円、企業1社から100万円、合計151万5千円の寄付を受けました。また、市指定文化財「三井港倶楽部」所有者の三井松島ホールディングス株式会社から申請があり、三井港倶楽部雨水排水路増設事業で基金から226万円拠出しました。

（単位：千円）

R3年度決算に伴う 基金高 ①	R4年度中の増減額		R4年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
35,898	1,516	2,260	35,154

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 950人

③環境美化活動の実施

- ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽
駿馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会
- イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等
NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駿馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）20個を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施し、また同日に「宮原坑耐震補強工事現場見学会」を実施しました（日本博補助事業）。

と き 11月3日（木・祝）10時～16時

ところ 宮原坑

内 容 ステージイベントや飲食ブースなどの催し、宮原坑耐震補強工事現場見学会

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

台風により9月6日、18～19日、寒波により1月24日午後、25日に全施設を閉鎖しました。

見学者数 13,321人（宮原坑）、7,318人（三池港展望所）、1,995人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録7周年事業の実施

ア 世界遺産登録記念給食の実施

学務課の協力により、全市立小学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（石炭ビーンズ）を実施しました。R4年度も三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の3市合同で取り組みました。

7月8日前後に各市の小中学校において実施

イ 啓発動画の制作

三池炭鉱・三池港をPRするオンラインツアー映像を三池エリアの構成自治体である大牟田市、荒尾市、宇城市及び佐賀県佐賀市と協力して制作しました（日本博補助事業）。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を初めて実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駿馬小学校6年生が参加）。

6月9日、16日、24日に講座、11月17日に発表会

⑤宮原坑耐震補強工事オンライン公開

文化財を修理し保存していることを広く知ってもらうことを目的として、工事の様子を映像で記録し、動画を制作しインターネット上で公開しました（日本博補助事業）。

⑥出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 12件 視察対応 3件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

ア 試掘・確認調査（国・県補助事業）

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが765件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは8件、本調査を行ったのは1件でした。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」発掘調査（国・県補助事業）

史跡指定地外において発掘調査を行いました。

ウ 有明海沿岸道路建設に伴う発掘調査（受託調査事業）

国土交通省九州地方整備局有明海沿岸国道事務所の委託を受け、有明海沿岸道路延伸工事に先立ち工事区間内に所在する三池炭鉱専用鉄道敷跡の一部を発掘調査及び三次元測量調査し、記録保存を行いました。

②文化財防火デー

ア 県指定文化財「石造六地藏」が所在する法雲寺において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

と き R5年1月26日（木）

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、5月と11月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（170～172ページ）を参照）

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定文化財「今山普光寺ならびに定林寺石塔群」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 13件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 1件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア 古代体験講座「勾玉づくり」

と き 8月17日(水)

参加者数 8人

イ 大牟田史跡めぐりウォーク-櫟野編-

と き R5年3月12日(日)

参加者数 15人

④大牟田古墳カードの製作・配布

大牟田古墳カード3種(潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳)を各100枚製作し、各古墳の見学者に配布しました。

配布場所

潜塚古墳カード 駿馬天満宮社務所

黒崎観世音塚古墳カード 三池カルタ・歴史資料館

萩ノ尾古墳カード フードショップヒラヤマ

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

①おおむたカルタものがたり

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、市民等がカルタについて学び、体験できるイベントを開催し、地域のカルタ文化の普及・発展を促進するとともに、市内外に本市の魅力を発信しました。

と き ７月３１日（日）

ところ イオンモール大牟田 １階ありあけコート

内 容 ア ワークショップ

（ア）カルタをモチーフにしたクリスタルストラップづくり

（イ）オリジナル花カルタづくり

（ウ）貝がら絵付け体験

イ カルタ体験会

（ア）ジャンボカルタ体験

（イ）競技カルタ初心者教室

参加者 ワークショップ ２６人

カルタ体験会 １１人

②大牟田押し花アートフェスタ

R４年度は、若い世代に押し花を知ってもらうことに重点を置いて事業を実施し、より多くの人に押し花の魅力を知ってもらい、押し花文化の普及や発展につなげました。

と き ア ワークショップ&押し花はがきコンテスト

８月２０日（土）、２１日（日）

イ 展覧会 ９月１０日（土）、１１日（日）

ウ ふくおか県民文化祭 １１月６日（日）

ところ ア・イ ゆめタウン ２階わくわく広場

ウ 大牟田文化会館

内 容 ア 大牟田北高校書道部・美術選択生徒がデザインした台紙を用いたオリジナルはがきづくり（押し花はがきコンテストも同時開催）

イ はがきコンテスト応募者作品、押し花作家・杉野宣雄氏と北高書道部生徒のコラボ作品、北高書道部・美術選択生徒の押し花オリジナル作品等を展示

ウ ふくおか県民文化祭の展示部門で、北高生徒の作品１０点を展示

参加者 ア １３５人（コンテスト応募者は内１２０人）

③カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ館を有していることから、カルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

（内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（１７０～１７２ページ）を参照）。

(2) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 17件(計画事業数は18件)※1事業中止

入場者数 7,960人

事業名	主管団体名	と き	ところ
第30回ありあけ山野草会	ありあけ山野草会	4月7日(木) ～4月9日(土)	文化会館展示室
第69回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月19日(火) ～4月24日(日)	文化会館展示室
公募事業 大牟田市退職小・中学校長会 「趣味の作品展」	大牟田市退職小学校 長会	6月9日(木) ～6月12日(日)	文化会館展示室
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	6月26日(日)	文化会館小ホール
第16回スプラウトダンス発表会	大牟田ストリートダ ンス協会	7月17日(日)	文化会館大ホール
第14回上津原仁子バレエ研究所 発表会	大牟田バレエ協会 (上津原仁子バレエ 研究所)	8月28日(日)	文化会館大ホール
大牟田押花フェスタ2022	大牟田押花の会	9月17日(土) ～9月20日(火)	文化会館展示室
創作太鼓と郷土芸能の祭典 「つなげよう郷土の芸能次世代 へ」	おおむた和太鼓 愛好会	9月25日(日)	文化会館大ホール
歌謡フェスティバル2022	有明歌謡連盟	10月2日(日)	文化会館大ホール
第1回 舞台芸能合同発表会	大牟田民舞協会 (日本舞踊幸若流)	10月9日(日)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と文化講 座	三池史談会	10月8日(土) 10月15日(土)	文化会館研修室
クラシックギターのつどい 大牟田クラシックギター愛好会 第8回定期演奏会	大牟田クラシックギ ター愛好会	10月15日(土)	文化会館大ホール
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	10月16日(日)	文化会館小ホール
第71回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期:10月25日(火) ～10月30日(日) 後期:11月4日(金) ～11月8日(火)	文化会館展示室他
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月28日(金)	文化会館研修室
第39回大牟田市民音楽フェステ ィバル 2022 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	10月30日(日)	文化会館大ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	11月6日(日)	文化会館小ホール
第65回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	中止	

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 18件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	5月20日(金)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月13日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	6月16日(木) 6月17日(金) 6月21日(火)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月20日(月)
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月27日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	9月12日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	9月26日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月18日(金) 11月22日(火) 11月24日(木)
吉野小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11月21日(月)
吉野小学校	華道	大牟田文化華道連盟	11月28日(月)
三池小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月29日(火)
駛馬小学校	日本舞踊	日本舞踊 幸若流	12月5日(月)
明治小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12月20日(火)
駛馬小学校	音楽(箏・三絃・尺八)	大牟田三曲協会	1月23日(月)
銀水小学校	美術(押し花)	花みずき会	1月23日(月)
吉野小学校	音楽(箏・三絃・尺八)	大牟田三曲協会	2月13日(月)
みなと小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	2月14日(火)
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	2月23日(木・祝)

(2) 子どもの文化芸術体験支援事業

大牟田市子どもアートスクールツアー

子どもたちが劇場や美術館等に行って、文化芸術に直接ふれる体験ツアーを実施しました。R4年度は美術品等を鑑賞体験しました。

と き R5年3月28日(火)

ところ 福岡市美術館、福岡市博物館

参加者 市内在住の小学4～6年生40人

(3) 若者の関心に合わせた文化芸術事業

ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

若者の文化活動にダンスは身近になっておりダンスに寄せる若者の関心が高いほか、本市では全国レベルの大会で活躍する若者も多いことから、若者の関心に合わせた文化芸術事業として実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、元年度以来、3年ぶりに開催しました。

と き R 5 年 1 月 1 5 日 (日)
ところ 大牟田文化会館大ホール
参加者 約 6 0 0 人

(4) 音楽を通したおおむた未来応援事業

8 月 2 3 日に本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結した推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席(おおむた未来応援シート)を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、ミニコンサートも開催しました。

と き ① R 5 年 2 月 1 9 日 (日)
② R 5 年 2 月 2 0 日 (月)
内 容 ① 日本フィルハーモニー交響楽団 大牟田公演
② ミニコンサート
ところ ① 大牟田文化会館
② てとてのたまご (菅原病院)
参加者 ① 約 1 3 0 人
② 5 0 人 (内子ども 2 5 人)

【視点３）文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実に図ります。

【主な事業】

○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 ５９件

（２）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの１事業として実施しました。

公募事業 大牟田市退職小・中学校長会「趣味の作品展」

と き ６月９日（木）～６月１２日（日）

と ころ 大牟田文化会館展示室

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

（１）羽山台小学校演劇ワークショップ・講演会

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップ等を実施しました。

と き ① １１月２２日（火）、Ｒ５年２月１０日（金）

② １１月２３日（水・祝）

③ Ｒ５年２月１１日（土・祝）

内 容 ① 羽山台小学校ワークショップ

② 市内小学生等を対象にしたワークショップと講演会

③ 市内中高生や大人を対象とした演劇ワークショップ

場 所 ① 羽山台小学校

②③ 大牟田文化会館

参加者 ① ４７人

② ワークショップ：１７人 講演会：２０人

③ ２２人

○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

（１）広域連携事業

① 有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と き ５月３１日（火）～６月５日（日）

と ころ 大牟田文化会館 展示室他

② 有明圏域定住自立圏共同文化事業

文化の視点から有明圏域定住自立圏の各市町の様々な魅力を発信するため、共同文化事業を実施しました。Ｒ４年度は、写真展（文化をテーマにした写真による地域紹介）

を開催しました。

- と き ① 9月1日（木）～9月30日（金）
② R5年1月5日（木）～1月20日（金）
- ところ ① 福岡県庁（福岡よかもんひろば）
② くまもと県民交流館パレア

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はS61年（1986年）、カルタックスおおむたはH3年（1991年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 空調設備更新工事、事務室前トイレ改修工事、舞台照明移動器具等更新など
- ・カルタックス 駐車場改修工事、図書館児童書エリア外フロアカーペット張替など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値:57.9%(H30年度実績)]
	実績値(%)	44.5	38.2	47.3		
	達成度(%)	55.6	47.8	59.1		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、市公式LINE等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布・掲示し、積極的な広報を行いました。
- ・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で17事業実施しました。R3年度に比べ事業数は増加しているものの、参加者数がそれほど増加していないことなどが指標実績値に影響している可能性があります。
- ・新しい生活様式を踏まえたイベントの実施が増加し、R3年度に比べ文化芸術に触れる機会は戻りつつありますが、依然としてコロナ禍前のR元年度の実績値57.9%を下回っており、新型コロナの影響が指標実績値に影響している可能性があります。
- ・郷土の歴史への興味関心を高めるために、次世代を担う子どもたちを対象とした小学生バス見学会や文化財に関する出前講座を継続して実施しました。また、地域で長年まちづくり活動をされている校区まちづくり協議会等と協力して宮原坑フェスタを実施するなど、世界遺産・宮原坑を通じて郷土を愛する気持ちと誇りを育む事業に取り組みしました。

【今後の方向性】

- ・文化芸術を通して人々が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かなまちを実現するため、引き続きさまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくりに力を入れ、今後も文化芸術を通して子どもや若者の豊かな感性を育み、心豊かでたくましい青少年の育成を図る施策を推進します。また、R5年度は次期大牟田市文化芸術振興プランを策定することとしているため、市民意識調査やアンケート等から市民ニーズを的確に把握し、グローバル化やデジタル化等の社会状況の変化に応じた事業をプランに反映していきます。
- ・文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、十分な感染防止策を講じた上で、多くの市民が安心して気軽に文化芸術に触れてもらえるよう事業を実施していきます。
- ・世界遺産を含む市内に所在する文化財の保存と活用を行うことで、まちの歴史や文化について、多くの市民が理解と関心を深め、まちへの愛着と誇りを育んでいくことと併せ、引き続き市内外の来訪者に世界遺産の魅力を現地で直接触れてもらうことで、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。